



第18回 スマイル インタビュー



この会を結成した経緯は？

木野2丁目でもボランティア活動をしていると聞き、木野1丁目でもできないかと、平成15年5月に20人で活動を始めました。

どのような活動をされているのですか？

毎月、生きがい教室を開催し、手作り昼食やメデイカルチェック、体操、筋トシ、脳トシ、ゲーム、手芸等を行っています。

100歳体操も毎月実施しており、終了後は手作りおやつとコーヒーで団欒しています。

また、年に5、6回、施設やイベント等で、歌や踊り、銭太鼓を披露しています。



生きがい教室で作成した作品

地域の催事にも積極的に参加して

おり、地域の見守り活動も始めました。空き家確認、高齢者で見守りの必要な方などの地域マップ作りにも取り組み、援助が必要な高齢者と医療機関等との橋渡しもしています。

地域交流館の管理や清掃活動も行っています。

今後の活動は？

高齢者が家に閉じこもらないように、働きかけをすることが必要だと思います。ボランティアメンバーが高齢化していますが、できる限り活動を続けていこうと話しています。

これからも地域の高齢者の皆さんが安全で安心して暮らせる地域作りを目指して頑張っていきます。



9月に実施された上映会の参加者とメンバーの皆さん（上映会は毎月実施されます）

あとがき

4年間の任期半分が経過し、慣例により各議員の所属する常任委員会ほか、各特別委員会や調査会の構成員再編がありました。議会だよりを編集する広報広聴特別委員会でもメンバーの入れ替えがありました。

大竹市の常任委員会には総務文教委員会と生活環境委員会があります。委員会制度を採用している大竹市議会において、本会議に提案された議案に対し細かく議論をし、委員会としての判断を導き出す大変重要な役割を担っています。

また、特別委員会には広報広聴と基地周辺対策を。調査会は議会改革に関する意見交換の場が設置されています。

委員会や調査会は広い本会議場ではなく、同じ市役所5階の委員会室で開催されるため、質疑への答弁をしてくださる執行部との距離が近いからか、いつも白熱した議論が展開されます。本会議に限らず、これら委員会の傍聴にもお越しくだされば、大竹市政の流

れがより詳しくお分かりいただけます。引き続き同じ委員会に所属した議員、もう一方の委員会に移動した議員とも、それぞれが気持ちを新たに役割を担って市政の課題に臨んで参ります。

広報広聴特別委員

- 委員長 寺岡公章
副委員長 末広和基
委員 寺岡和基、北地久、西村一啓、和田芳弘、網谷芳孝、日域芳孝

市議会だよりは市ホームページにも掲載しています。

発行・平成29年11月1日 大竹市議会 広島県大竹市小方一丁目11-1 TEL 0827-5912183